

個人情報の使用目的及び同意書

利用者及び家族、使用目的上で必要と思われる関係者の権利と尊厳を守るため、当事業所は下記の通り個人情報を定義し、適正に使用します。

個人情報の定義と使用方法

個人情報 (定義)	対象	利用者および家族、下記の使用目的上で必要と思われる関係者 ※以下「利用者等」という
	情報	氏名 生年月日 住所 電話番号 顔写真 病歴 心身の状況 利用状況 被保険者証・認定調査の内容 請求及び支払状況 家族状況 経済状況 その他、必要と思われる情報
使用方法	連携・共有・入手・提供・照会・回答・意見聴取・協力	

個人情報の使用目的

(1) サービス提供の前・中・後・看取り期に適切な支援を行うため、次の者との間で使用する。

- 自事業所及び当グループ内の事業所(医療・介護・福祉・他)、その職員
- サービス計画書の策定、会議、日常の記録等に関わる者
- 外部の医療機関・介護事業所・関係各機関、その職員
- 当グループの業務委託会社、利用者等が個人契約する会社など
- 緊急時・災害時、身体・生命の保護のために必要と考えられる者・機関など
- 国・県・市町村、その他、必要と思われる者・関係各機関

(2) 権利の保護、法令遵守、紛争解決、法的手続きのため、次の者との間で使用する。

- 行政、警察、消防、関係各機関、裁判所、法律事務所など
- 事故等が発生した場合に連携が必要と考えられる者・機関など

(3) レセプトの審査・請求・支払、利用料の請求のため、次の者との間で使用する。

- 審査支払い機関、保険者、金融機関、保証人、関係各機関など
- 保険会社(損害賠償保険)など

(4) 研修・研究・実習・統計・行政政策のため、次の者との間で使用する。

- 自事業所および当グループ内の事業所、その職員
- 実習・研修(学生・社会人等)に携わる者、実施機関など
- 国・県・市町村、その他の関係各機関

※ 緊急時に同意を得ることが困難な場合、生命・財産・身体保護を目的として使用について

行方不明・災害等の緊急時において利用者の生命・財産・身体の保護が必要な場合、予め本人及び家族等の同意を得ることなく、利用者等の個人情報を各関係機関(者)との間で使用(提供・共有・他)します。

同意欄

利用中、下記の個人情報の取り扱いについて、次のとおり希望します。

- 部屋の氏名の掲示(可・否) ■ 行事の際の氏名の掲示(可・否)
- 当事業所の発行誌への写真・氏名の掲載(可・否) ■ 個人の持ち物に記名(可・否)

上記の説明を受け、内容を理解し、利用者等の個人情報の使用について同意いたします。
また、下記の「家族代表」は予め関係する他家族等からも本書に掲げる事項に同意を得ています。

年 月 日 (利用者) _____ 印

年 月 日 (家族等代表) _____ 印 (続柄 _____)